

# 町医者だより

平成20年11月号

＜発行・お問合せ先＞

おおわだ内科呼吸器科

院長 大和田 明彦

市川市南八幡4-7-13

ジャポール本八幡2階

JR本八幡駅南口(シャポー改札口)

1分ミスタードーナツ並び

スーパーつるかめ(旧フレック)2階

電話047-379-6661

おおわだ  
内科  
呼吸器科

## 禁煙補助薬チャンピックスについて

今回は今年の5月から日本でも処方が可能になった「飲む」禁煙補助薬チャンピックスにまつわるお話です。

### 禁煙の重要性

タバコが肺がんなどの発癌や高血圧や糖尿病を悪化させることは知られていますが、アメリカでは(おそらく日本でも)、喫煙は2位の肥満とともに飲酒や交通事故などよりもはるかに重要な人々を死に至らしめる人為的要因と捉えられています。すなわち喫煙は「早すぎる死」をもたらします。

### タバコを吸うと

大量のニコチンが肺から取り込まれ、薄まることなく脳に運ばれます。脳には「中脳辺縁系ドーパミン経路」と呼ばれる場所があって、数あるニコチン受容体の中でもニコチンへの親和性が非常に強い $\alpha 4 \beta 2$ ニコチン受容体が存在し、喫煙によって運ばれたニコチンが取り込まれます。すると快楽物質とも言われているドーパミンが放出され爽快感が得られます。これがタバコへの依存性を引き起こします。この「中脳辺縁系ドーパミン経路」こそが「脳の報酬中心」といわれ麻薬などの薬物依存やギャンブルにも関連がある部位なのです。

### チャンピックスは

一般名はバレニクレン酒石酸塩と言います。これまであったニコチン補充剤(ガムやパッチ)と異なりニコチンをまったく含んでいません。この薬は、マメ科の多年草「クララ」という植物に含まれる「シチシン」という物質を元に人工的に作られました。この「シチシン」は先に述べた $\alpha 4 \beta 2$ ニコチン受容体に結合し喫煙ニコチンが取り込まれるのを防ぐとともに少しだけ快楽物質ドーパミンを放出させます(この少しだけ快楽物質を放出するところが重要です。このことが禁煙の際の精神的苦痛を和らげてくれます)。タバコを吸わなくてもタバコを吸ったような錯覚を起こさせる作戦です。この「シチシン」はとても有毒なのですがロシアやブルガリアでは過去に実際の禁煙治療に使われていたようです。

### メンタル疾患の患者さんに対する処方

飲み始めのころに軽い吐き気が出ることもありますが、実際処方していると大変優れた薬であることを実感します。先行販売されているアメリカからメンタル疾患(うつ、統合失調症など)の患者さんでの処方での精神症状の悪化や自殺願望の出現する事があるとの報告があって日本でも添付文書に注意が書き加えられました。たとえ、そうであっても私はメンタル科の先生と協力して積極的にチャンピックスを使っていこうと思っています。それは、これまで多くの患者さんを拝見してきてメンタル疾患を抱えている患者さんに一日50本、60本と異常ともいえるような本数を吸っている喫煙者が多くいらっしゃることを知っているからです(禁煙や減煙を勧めると治療薬で耐えがたい眠気が来ると訴えられる患者さんもありました)。そして、慢性的にメンタル疾患をお持ちの患者さんの寿命が平均25年短く、寿命を短くする要因で大きなウェイトを占めるのが「喫煙」であるとの記述を発見したからです。